

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公表番号】特表 2002-524647 (P2002-524647A)

【公表日】平成 14 年 8 月 6 日 (2002.8.6)

【出願番号】特願 2000-570251 (P2000-570251)

【国際特許分類】

C 0 9 C 1/28 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/18 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 11/02 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 C 1/28

A 6 1 K 7/00 B

A 6 1 K 7/02 P

C 0 9 C 3/06

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 11/02

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 12 日 (2006.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の顔料混合物を調製する方法であって、

方法の第 1 段階において、直径 50 μ m 未満の球状二酸化ケイ素を二酸化チタンで被覆し、

方法の第 2 の段階において、成分 A の得られる懸濁液を、直径 50 μ m 未満の球状二酸化ケイ素を第 1 の層としての二酸化チタンおよび第 2 の外側層としての酸化鉄 (III) で 65 ~ 80 ° の色相角度が達成されるまで被覆することによりあらかじめ調製された成分 B の未焼成粉末状のものと、4 ~ 9 の pH で攪拌下に混合し、

混合物をさらに 10 ~ 30 分間攪拌し、

得られる顔料を反応媒体から分離し、洗い、乾燥し、

500 ~ 900 ° で焼成することからなる、顔料混合物を調製する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

塗料、ワニス、粉末被覆剤、印刷インク、ポリマー、農業用フィルムにおける、レーザ

ーマーキングのための、種子粉衣としての、および化粧製剤における、請求項 1 に記載の顔料混合物の使用方法。